

HAKKODENSIS



平井 憲治氏 撮影

八甲田地区
パークボランティア連絡会
第 82 号 会報

2012 年 2 月 6 日

事務局（発行者） 阿部幸子
青森市中佃 2-15-5
Tel・Fax 017-741-8068
E-mail
pv.0514@ruby.plala.or.jp

「 新年の挨拶 」

会長 福村 誠

新年あけましておめでとうございます。

大きな綿帽子をかぶったような家並みが見渡すかぎり
広がっている豪雪の青森市です。（積雪 129cm）

平成二十三年度は人類史上まれにみる東日本大震災
を経験し、今年はその復興元年として位置づけられ、
様々な対応が広く求められています。亦、新幹線の開
通と共に観光客の増大が見込まれたものの、大震災と
その後の原発事故の風評被害と相まって、極めて深刻
な事態が拡大しつつあり、その影響は計るべくもなく、
具体的な展望がなかなか開かれない状況です。

そう言ったなか、十和田八幡平国立公園十和田湖に
新しい事業が展開されようとしています。

それは言うまでもなく十和田湖畔休屋にビジターセ
ンター建設が計画され、そのつち音が近々聞かれるこ
とでしょう。

それと同時に、昨年十二月には環境省十和田自然保
護官事務所の主催で行われた十和田・八甲田地区 P V
の養成研修会が開催され、P Vとして活動していくた
めの必要な知識・心得などの習得を目的として実施さ
れ盛況のうちに終了されました。

今年からは新会員として皆様と共に活動の予定で
す。どうぞこれまで以上のご協力を切に希望したいと
思います。

「 本年もよろしくお願い申し上げます。 」

環境省十和田自然保護官事務所

首席自然保護官 北橋 義明

あけましておめでとうございます。

今冬は例年にならない豪雪と冷え込みで、皆さんの暮らし
も大変なことと思いますが、こちら休屋でもあちこちの
水道施設が凍結し、あたふたした年明けとなりました。

平成 23 年度は、（まだもう少し行事も残っていますが）
利用者指導や施設補修などの継続に加え、井戸岳の植生
復元活動でも被植率の上昇や新たな実験区の設置など、
着実に成果が見られ、さらに活動が充実したと思います。

昨年 3 月の東日本大震災以降、東北地方では直接の被
害はもちろぬ、海外までも含めた風評被害による観光面
での落ち込みも復興への大きな足かせとなっています。

その解決には、十和田・八甲田地区を訪れてくださった
方々が、その自然に満足し、戻られた地元でその経験を
発信していただけることが一番と思われ、様々な民間事
業者の取り組みに加え、P Vの皆様の活動も、今まで
以上にその重要性を増していくのではないかと思います。

そうした中、新しく 18 名（予定）の仲間が増え、活動範
囲も従来の八甲田地区に十和田湖地区を加えていくこと
となっていますが、新しい十和田ビジターセンター（沿
岸部の復興が優先され着工が遅れておりますが、25 年度
中の開設を予定）における活動充実と合わせ、皆さんの
一層の活動が復興の一助となることを期待しています。
それでは、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

P.S. 配信を遅らせてしまいました。すみません。

「研修会に参加して」

十和田市 氣田 貢

12月3・4日、八甲田地区パークボランティア養成研修会が環境省休屋休憩所において行われました。初めて参加された方20名、PV会員10名、そして環境省、自然公園財団、国立公園協会の方々も多数おられました。

自己紹介では、長い登山歴や自然保護への高い関心を語る方など、その意欲溢れるお姿に接し、私自身大きな刺激を受けました。

北橋首席自然保護官のご挨拶があり、「環境省の仕組みと自然公園について」の講義で始まりました。松山先生の背筋がピシッと伸びた講義に感銘を受けました。喜寿近いとはとても思いません。

最後に川村勝美さんと15年在籍してきた感謝状を頂きました。途中、退会しようと考えた時もありましたが大塚前会長、阿部事務局長、会の皆さまの励ましで今日に至りました。北橋首席自然保護官のご厚情にもお礼申し上げます。

ありがとうございます
ございました。



： 三月の活動予定

【会員研修会】

日時：3月4日(日) 9:30～12:50

場所：道の駅「ゆきさ浅虫」4階会議室

TEL:017-737-5151

内容

9:35～10:00 スライド「八甲田の四季」

発表者 PV会員 田中 定男氏

10:00～11:00 「植物の不思議」 斗沢 栄一氏

NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

景観学部 部長(東奥日報 毎週水曜日

の夕刊に「植物の不思議」のタイトル

でコラムを掲載している方です)

11:00～12:30 「救急救命講習」

心肺蘇生法とAEDの使い方等

動きやすい格好でご参加ください

講師：日本赤十字社青森支部 川村さん

12:30～ 環境省から

申し込み：2月25日まで(PV事務局)

【環境省主催 冬の篤スノーシュー】

日時：3月10日(土) 10時半～15時

集合場所：鳶温泉駐車場(スタッフ10時集合)

サポートスタッフを4名募集します。

希望される方は下見(3月7日11時～)

にもできるでご参加ください。

申し込み：3月2日まで(PV事務局)



： 事務局から：

今年の雪の降り方は異常だと思いながら、まだ2月が待ちかまえていると気を引き締め、ぎつくり腰にでもなつたら大変と自分の体調に気を使っているこの頃です。2月に入つて更に豪雪に拍車がかかり、家の周りが屋根から下ろした雪で囲まれ、穴の中で生活している感じで、例年以上に厳しい冬と闘っている。気温も低い日が続き、インフルエンザも猛威を振るっているとか・皆さん気を付けましょう。

「平成23年度活動報告書」の提出について
同封の活動報告書を3月31日迄にPV事務局迄。4日の研修会に持参しても結構です。

八甲田地区PV連絡会の名称が4月から十和田八甲田地区PV連絡会と変更になります。

ネームプレートのデザインも変更を考えており、この際、岩手PVが「ヒナザクラの会」秋田が「ホシガラスの会」のように、親しみ易い愛称名と併せシンボルマークを募集したいと考えています。

写真・イラスト・ロゴマーク等、考えついた方は2月29日迄事務局まで応募願います。

直接、郵送の他、FAX、メールでもOK。お待ちしております。

